

ATTENTION

## 読書をしよう！-2023年の私の読書録

書籍			書籍		
No.1	戦前の大金持ち 出口治明編	2023/1/7	No.14	ミーツ・ザ・ワールド 金原ひとみ著	2023/6/1
No.2	子供の貧困連鎖 新潮文庫 保坂渉 池谷孝司著	2023/1/14	No.15	安倍晋三回顧録	2023/6/11
No.3	庭園日本一 足立美術館をつくった男 足立全康	2023/1/20	No.16	浮世絵鑑賞事典 高橋克彦著	2023/6/12
No.4	貞観政要 全訳注 呉克克訳注	2023/1/17	No.17	筋肉と脂肪 アスリートに訊け 平松容子著	2023/7/16
No.5	魯山人陶説 北大路魯山人	2023/2/9	No.18	日本の面影 ラフカディオ・ハーン著	2023/7/30
No.6	FLORAFLOA 図鑑 植物の世界	2023/2/12	No.19	怪談 ラフカディオ・ハーン著	2023/8/18
No.7	新唐詩選 吉川幸次郎 三好達治著	2023/2/19	No.20	The Psychology of Money Morgan Housel	2023/9/10
No.8	ふりさけ見れば 安部龍太郎著	2023/2/28	No.21	広重TOKYO 名所江戸百景	2023/10/1
No.9	樋口一葉赤貧日記 伊藤氏貴著	2023/2/24	No.22	Strategic Value Investing Horan, Johnson, Robinson	2023/10/6
No.10	成熟スイッチ 林真理子著	2023/2/27	No.23	What works on Wall Street O'Shaughnessy	2023/10/30
No.11	イソップのおはなし 小出正吾著	2023/3/10	No.24	Living within Limits Garret Hardin	2023/11/15
No.12	諸葛亮 宮城野昌光著	2023/3/31	No.25	怪物に出会った日 井上尚弥と戦うということ	2023/12/22
No.13	たけくらべ 樋口一葉著	2023/4/7	No.26	MOA美術館	2023/12/25

この表は、恥ずかしながら、私が2023年に読んだ書籍の一覧です。全部で26冊。ほかにも、米国の「ファイナンシャル・アナリスト・ジャーナル(季刊誌)」は全部読んでいます。1年で25冊から30冊読んでいます。もう少し増やしたいと思うのですが、なかなかそうはいきません。その都度、これは読んでみたいなーという本を買っています。本を読んだ後、感じることは、心地よい読了感です。自分の身に入っていくのを感じるのです。読書は、非常に世界が広がります。私は、覚えておいたらいいたいと感じる所を、本に鉛筆でチェックを入れて、読み終えたあと、その箇所をメモしておきます。それを読み返すと、エッセンスなので、さらに深く入っていきます。いわゆる学ぶための書籍では「読んだ」で終わると、後になって何を学んだか、すっかり忘れてしまうことがほとんどです。そこをしっかりとメモしておいて、後で読み返し、知識を呼び戻すわけです。読書するタイミングは、結構作れます。いわゆるすき間時間。これが気分転換になり、脳にもいいのです。また、妙な話ですが、読書をしながら、ちょっとした昼寝の時間にもなります。昨年99歳で亡くなったバフェットの盟友、マンガーが言います。「読書をしないで成功した人を知らない。」今年も、読書にいそしもうと思います。

COLUMN

### 日本企業の衰退は企業モラルが落ちたから

これまでも、私は繰り返しメルマガやニュースレター(下記PDF参照)で、日本企業の不正行為を糾弾してきましたが、まだまだ止まりません。今度はダイハツ。いや、ダイハツは昨年春にも第一弾の不正が発覚しました。今回は、さらに悪質な不正が発覚したのです。この不正は30年以上前から、全車種で行われていたというのです。同じトヨタ系列の日野自動車も同種の不正が長年行われ、トヨタは見限ったのか、ダイムラー傘下の三菱ふそうトラックに事実上売り払った形でした。ダイハツの場合はどうなるのでしょうか。つい最近では、ビッグモーターがゴルフボールを車体にぶつけてボディをへこませたり、店の前の植栽を、枯葉剤をまいて枯らせて、展示車を見えやすくしたり、大手の損害保険会社は、この一件にも絡んだり、談合して大手企業の保険料を吊り上げたりと、あきれた不正が止まりません。こういう企業は、次に不正事件が起きると「あー、よかった、そっちに目が行ってくれる」と一息つくのでしょうか。また国の罰則は甘く、罰金も雀の涙ほど。「申し訳ありませんでした。」と頭を下げてしばらくすれば「人のうわさも75日」と、おとなしくしていれば通り過ぎると思っっているのでしょうか。不正がまかり通る世の中では、国全体の力はどんどん落ちていきます。国際的な信用もなくなり、競争にも負けていくでしょう。また国民自体も空気を吸っているようなもので、大きなマイナスの影響を受けるのです。日本衰退の真因は、こういうところにあるのです。 [no168news-letter.pdf \(bfsc.jp\)](#)

MARKET

	(12月末)	(11月末比)
日経平均	33,464.17円	-22.81円 (-0.07%)
NYダウ	37,689.54ドル	+1,738.65ドル (+4.84%)
米ドル	141.05円	-7.20円 (-4.86%)

私の書棚より

どんなに才能があったり、努力したりしても、物事は時間が必要だ。9人の妊婦がいても、1か月で子どもは生めない。

-ウォーレン・バフェット

『7つの習慣』

有名なスティーブン・コヴィの「7つの習慣」の30周年記念版の中から、そのエッセンスを紹介しましょう。新年に始めようという心構えづくりにも、大いに参考になるでしょう。

- 習慣が自分をつくる。だから、よい習慣をつくれ。悪い習慣を直し、人生はよくできる。
- 個性ではなく、人格を高める努力をしろ  
-個性は人格から作られるもので、個性自体は作れない。だから人格を高める努力をするべきだ。
- 健全な信条を持って-高潔、誠実、品位、忍耐、堅牢、思いやり、勇気、精励  
-生まれ育ちが自分を左右すると思いがちだが、それはまったくの思い違い。そう決めつけること自体が悪癖。だから、その呪縛から自らを解放して。人格は習慣からできるものだから、絶えずよいやり方を続ければ、よい人格をつくることができる。その礎となるのが、公平、公正、高潔、正直、高い品性、卓越、サービス精神、忍耐、堅牢、育成心、思いやり、勇気、精励、無限の可能性を開けるという態度。これらの人格を持った人間は、他の人たちによい影響を与える。人格は習慣からできる。卓越さは性向ではなく、習慣だ。これらの習慣を身につけるために、何をやりたいか、なぜやりたいかを明確にする。
- 習慣1. 前向きであれ-どのように対処するかは自分次第  
-ビクター・フランケルは、ナチス集団収容所の中で、自分が何を思うか、何をするかは自由で、自分の運命は自分で決めることができると考えた。可能性を切り開き続け、人はより強くなっていく。

- 習慣2. 最終目標を見据えて始めろ-自分の行うべき目標を書き、到達点を定める  
-意味ある目標をつくれ。どういう人物になるか、何を直すべきか、何を成し遂げたいかを書け。
- 習慣3. 優先順位を付けろ-自分の役割、責任、付き合いに優先順位を付けろ  
-大事なことが先に来るように、余計なことは後に来るように心がける。急ぎのことは見えるが、大事なことは見えにくい。よい計画を立て、たくさんのことを入れ込むな。
- 習慣4. WIN/WINを意識しろ-人とのよい関係をつくれ  
-勝者と敗者をつくる取引はするな。よい関係はWIN/WINだ。この関係を心がける。
- 習慣5. 理解するように努める。それから理解されるようにする-意思疎通と信頼は双方向。  
-まずはよく聞け。相手の立場になるように心がける。共感を醸すコミュニケーションだ。
- 習慣6. 相乗効果を出せ-まとまった全体は部分の合計より強い  
-アーチが二本の柱より重い重さを支えられるように、協力して行動するグループは、一人一人が別々に行動するより強い。協力とよいコミュニケーションに心がける。
- 習慣7. 自分のノコギリを鋭くしろ  
-忙しさにかまけて、自己研鑽を怠るな。自分のノコギリの刃を磨け。運動、瞑想、祈り、読書、音楽などで、自己の向上に努めよ。心構えを直すことは、習慣を変えることを意味する。人と暖かく接し、よく聞いて、多くを求めず、人がよくなるように努めよう。その結果があなたに還ってくる。

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売るのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男  
公認投資助言者 (RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386  
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp